

## サプライチェーンマネジメント

### 基本的な考え方

ミウラグループは、お取引先との連携強化と責任あるサプライチェーンマネジメントの構築を重要な課題と考えています。優れた供給資材をより良い製品づくりに活かすとともに、お取引先との相互信頼、法令遵守、環境保全、人権尊重、腐敗防止等の取り組みを推進することで、持続可能な社会の実現に向けて、お取引先と当社の持続的な成長をめざしていきます。

### サステナブル調達と推進体制

#### サステナブル調達

当社は環境保全に関する条項として、サプライヤーとの取引基本契約書に、「廃棄物削減、省資源、省エネ、リサイクルを推進し、地球環境に与える負荷の軽減に努める」旨を定めています。「ミウラグループサステナブル調達ガイドライン」として、紛争鉱物の使用禁止に努める内容を含む11項目を2021年8月に制定し、Webサイト上で公開およびサプライヤーへの周知も行いました。

#### グリーン調達

ミウラグループは、環境に配慮した製品を社会に提供するため、「ミウラグループグリーン調達ガイドライン」を2017年10月に制定し、製品に含有される有害化学物質調査に取り組んでいます。現在、自社ポイラ薬品についてはガイドラインに基づいた保証体制を整えており、今後は調査対象範囲を拡大するため、グリーン調達調査を推進しています。また、サプライヤー向けにアンケートを実施し、環境への取り組みや遵守状況の確認も行っています。

#### 調達におけるBCPの取り組み

2023年3月期は、海外サプライヤーのリスク管理やBCP基準における対象機器部品の再検討を行いました。来期には重要機能部品の安全在庫の見直し検討を実施します。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、サプライヤーが受注残を大量に抱えていたことで部品供給の納期遅延がみられましたが、情報共有による製造在庫と販売在庫の最適な調整で、製造・フィールドエンジニア活動の停滞はありませんでした。

2024年3月期は以下について取り組みます。

1. ミウラグリーンシフト(有害化学物質ゼロ宣言)に向けた部品調達、生産取り組みの推進継続
2. 紛争鉱物の不使用方法に向けた取り組み

#### サプライヤーと連携した品質向上への取り組み

ミウラグループでは、生産統括本部を中心に設計・グループ製造会社・資材調達および協力会社の4部門で、常に品質向上に向けた四位一体改革を推進し、高品質・低コスト・短納期を実現する生産体制の構築をめざしています。

#### 経営者会議

「TS(トップサプライヤー)優良製造会社認定制度」を2009年3月期より開始し、現在は、TS8社と理念を共有し、QCDF<sup>※1</sup>の追求と、長年にわたる相互信頼・WIN-WINの関係を構築しています。さらに、当社、社長執行役員 CEOをはじめとした経営層とTS8社の経営者が参加する経営者会議を年1回開催し、品質向上・納期対応・コストダウンの各社の目標、実績、自主点検結果を共有し、改善に向けた意見交換をしています。

※1 QCDF: Quality(品質)、Cost(コスト)、Delivery(納期)、Flexibility(適応性)

#### PC交流会(Process Change for the better)

当社の設計・調達とTS8社および主要協力会社の担当者による製造方法の改善、設計の品質向上を図る活動です。本会を通して改善し、削減できた加工時間は、電力消費量に換算され、部品製作におけるCO<sub>2</sub>排出量の抑制に役立っています。その成果は経営者層に会議を通して報告しています。

#### 「パートナーシップ構築宣言」への登録

当社は、2021年7月、「パートナーシップ構築宣言<sup>※</sup>」に登録し、サプライヤーとの連携・共存共栄を進め、働き方や生産性向上、BCP策定助言などの全体的なサプライチェーンの価値向上と、取引習慣の遵守・関係構築に取り組んでいます。

パートナーシップ構築宣言については、公益財団法人全国中小企業振興機関協会のWebサイトを参照ください。

<https://www.biz-partnership.jp/index.html>



## 地域社会への貢献

### 基本的な考え方

ミウラグループでは、世界が達成をめざすSDGs(持続可能な開発目標)を100年企業に向けた目標の1つとして捉え、CSR活動を積極的に推進しています。ミウラグループが事業活動を行っている国内外の各地域における持続的な発展や豊かな社会の実現をめざし、SDGs視点を考慮した教育支援、環境保全、地域活動への協力など、さまざまな社会貢献・地域貢献に取り組めます。

### 主な取り組み

#### 異業種企業が連携した環境教育プロジェクト

当社は2022年3月期、古紙をアップサイクルすることで循環型社会の実現をめざす「紙ンバック(カミンバック)プロジェクト」に、株式会社今治、夢スポーツ、第一印刷株式会社、今治明德中学校と取り組みました。この活動は、環境省が発行する令和5年版 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書に『「PaperLab」<sup>※</sup>を活用して、地域の資源を循環させ、人を繋ぎ、地域活性化に貢献する」事例として紹介されました。

※ セイコーエプソン社製品



中学生へ古紙を使った用紙製造の仕組みを説明

#### フードドライブでSDGsの達成に貢献

食品ロス削減と食料を必要とする人々への支援であるフードドライブに当社も取り組んでいます。各家庭から持ち寄られた食品は、松山商工会議所を通じて子ども食堂などの団体に寄付され、活動に参加した従業員からは「もっとこの活動が広がってほしい」などの反響がありました。2021年より実施しており、2022年も継続して活動をしています。



各家庭から持ち寄られた食品

#### 献血活動を通じた社会貢献で受賞

2022年7月14日、「第58回献血運動推進全国大会」において、日本赤十字社より「銀色有功章」を受賞しました。本賞は、永年、献血活動を継続している団体、推進団体などに贈られるものです。当社は献血活動を15年以上継続実施していることが評価され、この度の受賞に繋がりました。現在も松山本社および北条工場(愛媛県松山市)では、定期的に従業員による献血運動を行っています。



「銀色有功章」受賞

#### 芸術や教育への取り組み



ミウラアート・ヴィレッジ(三浦美術館)



愛媛大学農学部環境産業科学講座「三浦記念館」

ミウラグループは、芸術や教育を通じた地域社会への貢献活動を継続して実施しています。創業者 三浦保によって企画設立したミウラアート・ヴィレッジ(三浦美術館)や、愛媛大学への研究施設の寄贈、寄付講座などの産官学連携した取り組みを行っています。